



THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第2770地区 第8グループ 越谷北ロータリークラブ

世界に希望を生み出そう

2023-24 年度国際ロータリーテーマ 「世界に希望を生み出そう」 RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度越谷北 RC 会長提言 「奉仕の心でつなぐ希望の輪」 越谷北 RC 会長 大濱 裕広

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ● 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 | ● 会 長 大 濱 裕 広 |
| ● 例会場 越谷市千間台東インペリアルビル 4 階 | ● 副 会 長 小宮山 大 介 |
| TEL 048 (975) 9898 | ● 幹 事 市 川 洋 和 |
| FAX 048 (977) 3741 | ● 会報委員長 近 藤 慎 悟 |
| ● 創 立 1976 年 5 月 11 日 | |

第 2325 回 例会記録 No. 34

令和 6 年 5 月 8 日

司会: 小野寺 瑛子 編集: 近藤 慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「国家君が代」「奉仕の理想」
3. 四つのテスト
4. クラブビジョン・戦略計画唱和
5. 結婚記念・誕生日祝い
6. お客様紹介
獨協埼玉高等学校インターアクト同好会
顧問 瀬戸 てるみ 様
生徒の皆様
米山記念奨学生 倪 楓萃 様
7. 会長挨拶
8. 幹事報告
9. 3 分間ロータリー情報
10. お客様挨拶
11. 委員会報告
12. インターアクト同好会の活動報告
13. 出席報告

【次回例会案内】

令和 6 年 5 月 22 日(水)

ロータリアンの行動規範

会員卓話「私の趣味について」

卓話者: 須賀 篤史 会員

会長挨拶



大濱 裕広 会長

皆様、こんにちは。そしてお久しぶりです。
本日も例会にご出席ありがとうございます。長いゴールデンウィークもようやく終わり、早くも 5 月になりました。真夏日のような連休でしたが、私は 4 日間ゴルフでした。本当に春を飛ばして、夏の到来ですね。この先、真夏にはどんな天候になっていくのか少し怖いです。

後は、どこにも行かなかったのですが、5 月 6 日の井上尚弥選手のスーパーバンタム級 4 団体統一戦にはくぎ付けになってみていました。メキシコ出身の元二階級王者のネリとの激闘はすごかったですね。過去に山中慎介とのタイトル戦でネリは圧倒的なパンチ力で山中を倒したのでその印象があったから、余計に井上尚弥選手の力はすごいと思いました。

インタビューで過去に言っていたのですが「特別なことではなく誰よりも努力した結果が今につながっている」と。弟の井上拓真選手も試合前に言っていたのですが「僕のような何の才能もなくとも世界は取れることを証明したかっ



た」と、努力の先には必ず素晴らしい結果がついてくると
いうことを言っていました。試合も見ましたが、1 ラウンド
でのダウンから最終まであきらめず、自分を信じて戦っ
ている雄姿に感動しました。

本日は青少年奉仕月間ということで、顧問の瀬戸先生
はじめ、獨協埼玉インターアクト同好会の皆様にお越し
いただきまして、卓話ということでこの一年間の活動報告
をしていただきます。

と言うことで、本日は青少年奉仕事業についてお話を
したいと思います。

改めて、当クラブの定款第6場条に記載の通りですが
五大奉仕部門の5番目となる青少年奉仕は、『指導力
養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェ
クトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め
育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によっ
て好ましい変化がもたらされることを認識するものである』
とあります。

主に、インターアクトの皆さんと市民祭りなどの地域の
行事に参加し、ロータリアンと共に募金活動などボランテ
アリア活動をしたり、クラブ例会や親睦行事に参加してロ
ーター活動に関心をもってもらったり、青少年交換プロ
ジェクトや韓国 3750 地区との交換プロジェクトにおいて
参加し、同じ世代の若者と知り合うことで異文化の理解
をすることで、母国である日本のことをもっと理解できる
良い機会であると思っています。

日本では当たり前のことでも、海外ではそうでないこと
がたくさんありますし、文化の違いも実際に同年代の
方々と知り合うことで、多くのことを学ぶと思います。でき
るだけ多くのインターアクトの皆さんにロータリーで行わ
れています事業に参加いただいて、貴重体験、経験をし
てもらいたいと思っています。

皆さんの将来に少しでもお役に立つことが出来ますよ
う支援をしていきたいと私たちは考えています。

話がまとまりませんが、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告



市川 洋和 幹事

(地区より)

- ・今月ロータリーレートは1ドル 157円となっております。
- ・越谷南ロータリークラブより本年度のIMの報告書が届いております。皆様のメールボックスに入れて置きますので、ご確認下さい。

結婚記念・誕生日祝い



(結婚記念)

大濱 裕広 会員 ・ 吉田 実 会員
関 雄二郎 会員

(誕生日祝い)

堀野 眞孝 会員 ・ 黒田 幸英 会員
長谷川 真也 会員 ・ 深野 秀和 会員

おめでとうございます!!





関 雄二郎 会員

結婚祝いのお祝い、誠にありがとうございました。

私はロータリークラブに入って12年経ちます。この12年で様々な出会いがあつてですね、年度計画書とは相違が発生してしまっていると思うのですが、来週からのバリ国際奉仕事業の方でデビューをさせて貰えたらなと思います。また、機会があれば例会等で皆様にご紹介できればと思っております。

ありがとうございました。



堀野 眞孝 会員

今月17日をもって満80歳になります。父親が40代、母親が60代で亡くなったことを考えると、随分長生きしていると思います。

越谷北ロータリークラブには先輩に青木さん、太田さん、鈴木さんがおられまして、大きな顔して存在感を持って皆様頑張っておられますので、私も今少し在籍させて頂いて、少しでもお役に立てたらと考えております。

今後ともよろしく願い致します。ありがとうございました。

3分間ロータリー情報



関 雄二郎 会員

今月は青少年奉仕月間ということで、日ごろから奉仕の理念を理解され活動している獨協埼玉高等学校のインターアクトクラブの皆様へ、第2770地区では下記のような留学プログラムを通じて青少年の育成に力を入れております。コロナが明けまだまだ日本人は委縮しがちではありますが、これからは若い世代がどんどん世界に羽ばたいてください。

ロータリー青少年交換プログラムは、約1年間の交換留学を通じて派遣学生および来日学生にとって貴重な経験とめざましい成長をもたらし、次世代の国際理解・国際親善・世界平和を推進できるプログラムです。第2770地区では長年、日本の34地区の中で最多の交換人数を誇ってきた歴史があり、これまで地区内クラブ関係者、ホストファミリー、歴代委員会、歴代ROTEX(青少年交換学友)など数多くの方々に支えられて事業が進められてきました。COVID-19の影響により2年間プログラムが中止されていましたが、2022-2023年度より海外派遣・来日学生受け入れを再開しており、今年度は8月に7名を海外に派遣するとともに7名の来日学生を受け入れます。本年10月には10数名の派遣候補生を選抜する予定で、来年度の派遣に向けてオリエンテーションを実施していきます。オリエンテーションでは「ロータリーが青少年交換を行う目的は何か」を重視し、派遣候補生および来日学生にロータリーを理解していただくことに主眼をおきます。その中でロータリアン、ホストファミリー、ROTEXもロータリーの目的を正しく理解し、楽しく活動ができるよう、委員会として最大限努力していく所存



2023-24 Weekly Report



District **2770** ROTARY INTERNATIONAL

です。この青少年交換プログラム自体はとても小さな力しかありません。しかし一人ひとりの派遣生、来日学生および関係者がこのプログラムによって異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できると私たちは確信しています。そしてこの青少年交換プログラムは各クラブが高校生をスポンサーしてあげる以外に実施する方法がありません。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

えきれないこともあるかと思いますが、是非最後までご清聴ください。よろしく願いいたします。

お客様挨拶



獨協埼玉高等学校インターアクト同好会
顧問 瀬戸 てるみ 様

ロータリーの皆様こんにちは。本日はインターアクトの生徒と共にロータリーの例会にお邪魔することができ大変うれしく思っております。

インターアクトの活動の方は、コロナも完全には終息しておりませんが、コロナ前と同じような活動をする事ができてまして生徒共々大変うれしく思っております。

本日は日頃のインターアクトの生徒達の活動を、生徒を通じてお話をさせて頂けたらと思っています。

インターアクトは他の部活動と異なり、何か大会があってそれに優勝するために活動するわけでもないですし、毎日メニューがあってやる事が決まっている部活動ではなく、それぞれ個人がやりたいことを形にしてやっていけるとっても魅力的なクラブだと思っています。

今日このあと卓話のほうで発表させて頂きます。生徒達は、練習を重ねてはいるのですがまだまだ皆様の前でお話をするには非常に緊張してしまいます。上手く伝



米山記念奨学生 倪 楓萃 様

お疲れ様です。お久しぶりです。近況報告させていただけますが、その前に謝りたいことがあります

その前に—————謝り

授業時間帯

— 授業時間帯

1時限	9:00~10:40
2時限	10:55~12:35
昼休み	12:35~13:35
3時限	13:35~15:15
4時限	15:30~17:10
5時限	17:20~19:00

必修のゼミの時間と被ってしまった為、あまり例会に出れません。

4年生になり、必修科目のゼミが水曜日の2限に移ってしまいました。授業の終わり時間は12:35なので、例会の時間と被ってしまい、授業日の例会はあまり出席出来ません。申し訳ございません。

近況報告をさせていただきます。4月は初の通訳アルバイトをやりました。

4月の近況報告——初の通訳バイト



大宮西ロータリークラブの姉妹クラブ
台湾南投ロータリークラブ訪問歓迎会
に通訳として、参加しました。

大宮西ロータリークラブの姉妹クラブである台湾南投



2023-24 Weekly Report



District **2770** ROTARY INTERNATIONAL

ロータリークラブの公式訪問で通訳として参加しました。

あっという間に私でも「先輩」になりました。

4月の近況報告——初の通訳バイト



4月の近況報告——大凧上げた



4月の近況報告——初の通訳バイト



最後に、先週の日曜日5月5日に春日部の大凧あげに参加しました。こちらはロータリーの凧になります。もちろん、凧はあげました。梨本ガバナーの名前がある凧は2回あげました

南投のロータリアンたちは青のスーツです。黒いスーツは大宮西ロータリークラブのロータリアンたちです。

4月の近況報告——大凧上げた



4月の近況報告——2回目の入学式



そして残念ですが、最後の凧は風速の原因で本部の方で今年大凧あげをキャンセルすることになりました。以上になります。ありがとうございました。

委員会報告

副幹事 伊藤 純

そして、4月中旬ぐらいに2回目の入学式に参加しました。本当に時間が経つのは早いなと感じました。

2024-2025年度年度計画書の会員名簿・会員情報変更届のお願いを先ほど皆様にFAXをさせて頂きました。こちらの名簿に関しては第8グループの名簿にも使用するために、大変期間が短いのですが5月21日(火)までに、変更がある方は届出をFAXでご連絡お願いします。

4月の近況報告——2回目の入学式



主な変更内容として、社名・役職名・住所・電話・FAX・ご自宅情報ということで、変更があった場合はご連絡をお願いします。



また、本年度入会の石井会員、加地会員、深野会員に関しましては、変更がなくてもご記入の上、登録情報をお送りください。

最後に、次週 5 月 15 日第 5 回被選理事会を例会終了後に行いますので、次年度理事役員の皆様はご予約頂きますようよろしくお願いいたします。

ロータリー財団委員会 松崎 義一 副委員長

本年度の残りも 2 か月弱となっています。ロータリー財団へのご寄付がまだ成されていない会員がおられます。当委員会からお願いということでお声がけすることもあるかと思いますが、一つご協力の方よろしく願い致します。

親睦活動委員会 大熊正行 委員長

大濱年度も残すところ 2 か月弱となりました。つきましては、6 月 27 日(木)最終例会を都内のロイヤルパークホテルにて開催したいと考えております。

皆様方、理事役員の方々はもちろんのこと、パスト会長の方、ベテラン会員の方、中堅・若手の方、新会員の方、欠席なきようお願い致します。当日は、アトラクションでオペラのテノール歌手、そしてハープを演奏するハーピスト、さらには浅草サンバのサンバダンサーの方をお呼びしており、盛り沢山の催し物も用意しています。

会費は登録料会員 20,000 円、パートナー 15,000 円ですが、都内で盛大に行いますので決して高くはないと思います。皆様、決して欠席をせずに、ご参加よろしくお願い致します。

次年度合同委員会 今井 英治 次年度委員長

奉仕プロジェクト合同委員会からのお知らせです。本日会員組織部門と奉仕プロジェクト部門の合同委員会が例会終了後に開催されます。

委員会が重複する会員もいらっしゃいますが、極力奉仕プロジェクト委員会の 4 部門合同委員会の方にご参加頂く様よろしくお願いいたします。

インターアクト同好会の活動報告



3 年生 砂川 将輝 さん

こんにちは。獨協埼玉高校インターアクト同好会です。これまでインターアクト同好会ではさまざまな活動を行ってきました。例えば、高校 1 年の春にやった公園でのペンキ塗りや、夏にやったヤングケアラー問題の発表、その他にも能登半島地震募金や世界難民の日など、より多くの人に知ってもらいたいことを発信してきました。そんななかで今回は私たちが 3 年間やってきた活動をそれぞれがまとめて活動報告にしたので、ぜひ聞いてください。

〈 世界難民の日 〉



私からは「難民」をテーマに話をしていきます。世界には貧困、ジェンダー、戦争、災害などさまざまな問題がありますが、そのなかで難民という問題について私達は調べました。ロシアとウクライナの戦争もそうですが、わたしたちは戦争や難民といった言葉に対してニュースや新聞などで毎日触れるうちに、このような問題に慣れてしまうのではないのでしょうか。そこでみなさんは「世界難民の日」という日があることをご存知でしょうか。「世界難民の



日」とは紛争や迫害から逃れることを余儀なくされた人々の苦境に立ち向かう勇気を称えるものとして国連で制定された日です。毎年 6 月 20 日に難民支援についての理解を深める機会としてさまざまなイベントが世界中で開催されます。インターアクト同好会では「世界難民の日」のパネルをつくり、より多くの人に難民のことを知ってもらおうと思って活動をしました。私達がここで伝えなかったのは、今、地球のどこかで難民として過ごしている人が多くいらっしゃるということ、そして、そのような問題があることを知ってもらうこと、最後にこの日のことを他の人に伝えることです。この「世界難民の日」という活動を通じてより多くの人々が難民について知り、募金などの行動に移す機会にしてもらえればと思います。



3 年生 石井 涼彩 さん

① 自転車乗車時のヘルメット着用の促進のポスター作り

② 使用済みカイロ回収

3 年間行ってきたインターアクトの活動として、自転車乗車時のヘルメット着用の促進のためのポスター作り、使用済みカイロ回収の 2 点について報告させていただきます。突然ですが皆さんは普段自転車に乗る際、ヘルメットを着用していますか。おそらく多くの人々が着用していないでしょう。このヘルメット着用の促進活動は私が提

案したものです。

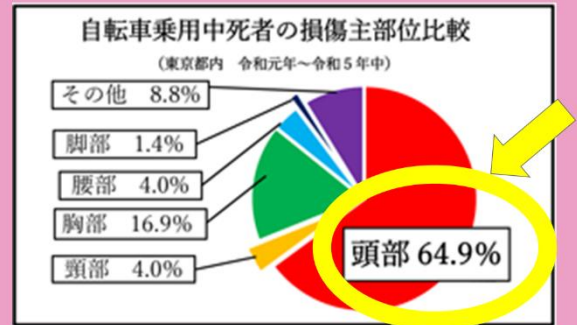
① 自転車乗車時のヘルメット着用の促進のポスター作りについて

まず・・・

令和5年4月1日から道路交通法の一部改正により、全ての自転車利用者に対し、自転車の乗車用ヘルメットの着用努力義務が課されることになりました。

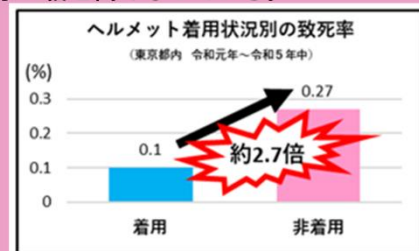
令和5年4月1日から道路交通法の一部改正により、全ての自転車利用者に対し、自転車の乗車用ヘルメットの着用努力義務が課されることになりました。

警視庁によると・・・



警視庁によりますと、実際に自転車事故で死亡した人の 64.9%が、頭部に致命傷を負っているようです。

また、ヘルメットの着用状況による致死率では、着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は約2.7倍と高くなっている。



また、ヘルメットの着用状況による致死率では、着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は約 2.7 倍と高くなっています。

さらに、獨協埼玉高校では自転車通学をする人も多く、ヘルメットを着用せずに自転車に乗って登校している人をよく見かけます。私は、前述したような自転車事故を減らしたい、怪我をする人・命を落とす人を無くしたいという



思いから、自転車乗車時のヘルメット着用をまずは学校で呼びかけたいと考えました。

場所を浄化する「Go Green Cube」という商品を開発しました。そのキューブを水の中に入れることで世界の水を浄化し、環境保全をしています。

そこで私はこう思いました・・・

自転車事故を減らしたい、怪我をする人・命を落とす人をなくしたい！



まずは学校で呼びかけよう！

そこで、先生や生徒の皆さんの目に留まり、興味を持っていただけるようなポスターを作成しました。

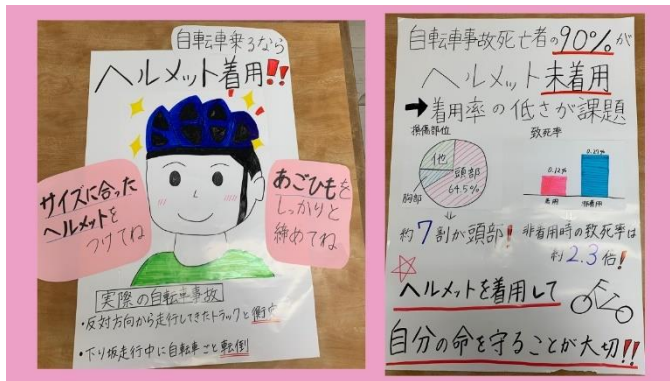
そこでインターアクト同好会では・・・

使用済みカイロの回収に努めるべく、回収ボックスを中学、高校の計2つを作成し、設置しました。



可愛らしい見た目についてカイロを入れたくなるようなボックスです！
(実際のボックスの写真は次のスライドへ！)

インターアクト同好会では、使用済みカイロの回収に努めるべく、回収ボックスを中学、高校の計2つを作成し、設置しました。



ポスターには、現状と課題、実際に起きた事故などを記し、ヘルメットを着用する重要性が見た人に伝わるよう努め、部員と協力して作成しました。皆さんも自転車に乗車する際にはヘルメット着用を意識していただけると嬉しいです。



可愛らしい見た目についてカイロを入れたくなるようなボックスです。

②使用済みカイロ回収

⇒GoGreenGroup 株式会社の事業に協力

GoGreenGroup 株式会社
…使い捨てカイロを使って農薬や化学肥料で汚染された場所を浄化する「GoGreenCube」という商品を開発。

そのキューブを水の中に入れることで世界の水を浄化し、環境保全をしているんだ！



次に、カイロ回収について申し上げます。カイロ回収については、Go Green Group 株式会社の事業に協力するような形で行いました。Go Green Group 株式会社は、使い捨てカイロを使って農薬や化学肥料で汚染された

ボックスにはこのようにたくさんのカイロがありました！
私たち部員の力で校内の先生や生徒の皆さんから多くのカイロを回収することができ、大きな達成感がありました！



定期的にボックスを確認する際には、ボックスから溢れ出すほど多くの使用済みカイロが見受けられます。

私たち部員の力で校内の先生や生徒の皆さんから多くのカイロを回収することができ、大きな達成感がありました。



また・・・

この活動をすることで、SDGsの17の目標のうち、以下の3つの目標に取り組むことが可能になります。



また、この活動をすることで、SDGs17 の目標のうち、「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」、「17 パートナーシップで目標を達成しよう」の3つの目標に取り組むことが可能になります。



世界には綺麗な水さえ飲むことができないような人も多くいます。そのような人たちのためにも、まずは私たちが使用済みカイロをむやみに廃棄せず、Go Green Group 株式会社を提供して、共に世界の水を綺麗にしていくことが重要だと考えます。

みなさんも是非GoGreenGroup株式会社のホームページをご覧になり、カイロ回収スポットへ足を運んでみてください。

私たちの小さな行動の積み重ねで、少しでも豊かで持続可能な社会を形成していきましょう！



みなさんも是非、Go Green Group 株式会社のホームページをご覧になり、カイロ回収スポットへ足を運んでみてください。私たちの小さな行動の積み重ねで、少しでも豊かで持続可能な社会を形成していきましょう。



3年生 箕輪 詩音 さん

私からは校内で行った3種類の募金活動について報告を行います。1つ目に赤い羽根募金です。

戦後間もない昭和22年に
市民が主体の民間運動としてスタート

↓

法律に基づき、地域福祉の推進のために活用

赤い羽根募金

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれている。

戦後間もない昭和22年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律に基づき地域福祉の推進のために活用されてきました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。私達インターアクト同好会では赤い羽根をクラスの人数分、袋に分ける作業と校内への呼びかけを行いました。

パキスタン救援募金

パキスタンでモンスーンに伴う豪雨による大洪水が発生→沢山の犠牲者、インフラにも影響

発生した洪水被害による人道危機を受け、救援活動を支援するために日本赤十字社が行った、海外救援金の募金活動

獨協埼玉中学高等学校
募金額 **68,277円**

2023-24 Weekly Report



District **2770** ROTARY INTERNATIONAL

2 つ目はパキスタン洪水救援募金についてです。

まず、パキスタン洪水被害についての説明を行います。2022年6月パキスタンでモンスーンに伴う豪雨による大洪水が発生しました。国土の3分の1が水没し、子供を含む1,200人以上が死亡、3,300万人以上が被災し、50万人以上が救援キャンプで生活していたと推測されています。さらに3,000km以上の道路と約150の橋が被害を受けるなど、インフラにも大きな影響を与えました。そして発生した洪水被害による人道危機を受け、救援活動を支援するために日本赤十字社が行った、海外救援金の募金活動のことをパキスタン洪水救援募金と言います。

インターアクト同好会ではパキスタン洪水募金のスライドを作成し、それを各学年のクラスルームに乗せてもらうことで募金活動の呼びかけを行いました。最終的に68,277円の募金額を生徒のみなさんに協力してもらい集めることができました。

人から人へ感染
汚染水を通じた感染
安全なワクチンで予防が可能

ポリオ募金

非常に感染症の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳児未満の子供

ポリオ募金について質問してくださる方が多々いた。ポリオ募金について少しでも知ってもらえたと思う。

最後にポリオ募金についてです。越谷市民まつりを通して、私達インターアクト同好会はポリオ募金の呼びかけを行いました。ポリオは非常に感染症の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳児未満の子供だそうです。

人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体の麻痺を引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能とのことで、募金活動を通じてワクチン作成のお手伝いをしたいと思いました。

実際に募金の呼びかけを行っていると言山の方に募金に協力してもらえました。また、募金をするだけでなく、ポリオ募金について質問してくださる方も多々

いて、ポリオの危険性について知ってもらうのと同時に世界のどこかにいる子供がこの病気によって悩まされていることを知らせることができたと思います。



3年生 笠原 愛美 さん

私からはウクライナ交流会及び、能登半島地震募金についてお話をさせていただきます。

〈 ウクライナ 〉

昨年の12月に本校が「ウクライナについて知ろう!」という題材のもと、獨協大学で学ぶウクライナからの留学生2名との交流会を開催しました。

ウクライナ留学生との交流会 ~ウクライナについて知ろう~

獨協大学で学ぶウクライナ出身の留学生2名が来校

- 本校からは約40名が参加
- ウクライナの文化や歴史についての紹介
- 質疑応答

本校からは約40名が参加して、ウクライナという国について、また日本とウクライナとの文化の違いを実際のウクライナ出身の方々から知ることが出来る機会でした。

留学生がウクライナの歴史や文化を実際の写真も交えて紹介してくれて、その後に本校の生徒数名が質問をしたりと直接会話もできる貴重な経験でした。

留学生が紹介してくれたウクライナの文化など、いくつか省略した形ではありますがお伝えしたいと思います。



ウクライナという国について



首都：キーウ 現在の東ヨーロッパに位置
ウクライナ語は134回の抑圧の末、公用語となる

↑上半分の青は青空




↓下半分の黄色は小麦
国旗は実り豊かな農業を表す！

まず、ウクライナという国についての紹介がありました。現在のウクライナは東ヨーロッパに位置しており、周辺にはロシア、ポーランド、ベラルーシが位置しています。国旗は上半分が青、下半分が黄色というデザインで、上半分の青は空、下半分の黄色は小麦で実り豊かな農業を象徴しているそうです。

国家語のウクライナ語は今までに 134 回という何度も抑圧された過去を持っていて、1991 年の独立でようやく公用語と認められたそうです。

ウクライナの文化 ～食事・民族衣装・音楽～

ヴァレニキ ボルシチ



刺繍模様
刺繍のデザインはお守りとしての意味もある



ウクライナ語は世界で最も旋律が美しい言語の一つとされ、音楽や歌が長年愛されている

次に文化についてですが、食事に関しては、ボルシチという料理とヴァレニキという日本でいう水餃子に似た国民食がある事を初めて知って、イメージしにくい外国の伝統料理も想像しやすいのではないかと感じました。

民族衣装は主に祝いの場で着用し、刺繍模様のデザインは地域によってそれぞれ特徴をもっていてお守りとしての役目も果たしています。また、ウクライナ語は世界で最も旋律の美しい言語の一つとして知られ、ウクライナ語で歌われた音楽は長年にわたって国民に愛されているそうです。私自身、その時初めて知り驚いたのですがウクライナの文化は実は日本との関わりがあり、例えば紀貫之の和歌がウクライナ語に訳されて多くの人の目に触

れていたり、反対にウクライナの民話が日本の有名な絵本のもとになっていると教えていただきました。


ウクライナの文化 ～日本との繋がり～

・ウクライナ語に訳された紀貫之の和歌

人はいさ
心もしらず
ふるさとは
花ぞ
香にほいける
紀貫之

Сердцу-ль чело́вѣка,
Послѣ мглы разлуки,
Вспомнить чело́вѣка?
Но пѣвѣты все тѣ же,
Дышуть такъ, какъ
прежде.

・日本の絵本となったウクライナの民話



かものむすめ

その他にもスタジオジブリや日本のアニメが親しまれている

その他にも直接お話をした際は日本のスタジオジブリやアニメもウクライナで人気だとおっしゃっていました。

ウクライナの歴史 ～弾圧から独立まで～

ウクライナは起源から独立まで複雑な歴史を抱えている

13世紀	ヨーロッパ最大の国となる
17世紀	独立を宣言 近隣の国とロシアで分割される・弾圧による飢饉 ソ連からの独立・・・
現在	ロシアによる侵略、戦闘状態になる

最後にはウクライナの弾圧から独立までの長きにわたる歴史を説明してくれました。国家として独立までの努力は多く、弾圧による飢饉が発生したり、独立まで何世紀もの年月があります。

留学生の方は、紹介から質疑応答まですべて勉強中である日本語を使って私達に説明してくれたり、その後直接お話しした時にも、翻訳しながらなど一生懸命にコミュニケーションを図ろうとしてくれる様子が印象的でした。

〈 能登半島地震募金 〉

今年の元日に起きた石川県能登半島地震は建物の崩壊、津波、地盤隆起がおり、現在 1,500 人を超える被災者が発生しています。また火災の発生率は東日本大震災よりも高いものとなりました。そこで復興支援の募金活動を学校内で行い、合計 109,868 円が集まり、日本赤十字社を通じて義援金を送りました。



能登半島地震募金

令和6年の元旦に発生した石川県能登半島地震
被害：1500人を超える被災者、建物の倒壊、津波、地盤隆起

能登半島地震募金

復興支援の募金を学校で行った結果、
109,868円の義援金が集まりました

109,868 円

私は災害が起こることの多い日本で暮らす立場として、復興支援を他人事ではなく、災害地域の情報を知ろうとすることでいつ起きるかわからない災害の予防にも向き合うことが出来るのではないかと感じました。また、募金活動という行為において学校という組織で話題に取り上げることによって、多くの関心に繋げる事ができるのだと痛感しました。



3年生 坪田 怜奈 さん

〈 アフガニスタン地震 〉

世界では1年間に震度6を超える地震が150回以上起きています。日本でも1月に能登半島地震が起きるなど地震が沢山発生していますが、アフガニスタンも地震が沢山発生する国の一つです。今回は、そんなアフガニスタンで起こった地震を紹介します。

まず初めに、昨年10月頃にアフガニスタンでM6以上の地震が1週間のうちに4度も発生する大きな災害が発生したことを知っていますか。この地震によって、1,400人もの方が亡くなり、1万以上の家が倒壊するなどの大きな被害が出ました。

アフガニスタン地震

昨年10月頃に
大規模な地震
が多発したことを知っていますか？
約一週間の間にM6.2の地震が4回発生

死者数 **1400人以上**
家屋の倒壊 **一万家屋以上**




この地震の最も特徴的な事は、犠牲者の9割が女性と子供ということです。

「犠牲者の9割が女性と子供」

【アフガニスタンの政治】
タリバン政権の支配
厳格なイスラム思想

女性の就労や教育の禁止

家の中にいたのはほとんどが女性と子供 ※多くの家は土壁でできている

↓

家屋の倒壊により**女性と子ども**が犠牲に



この原因にはアフガニスタンの政治が関係しています。アフガニスタンの政治はタリバン政権が支配しています。タリバン政権は厳格なイスラム思想を持っていて、女性が教育を受けることを禁止したり、外出を制限したりしていました。

現在

外出の規制
中等教育の禁止
就業の制限
児童婚・強制婚



そのため、多くの女性とまだ小さい子供が家の中にいました。アフガニスタンの家は土壁で出来ていて、耐久性が無く、地震によって多くの家が倒壊してしまい、家の中にいた女性と子供が下敷きになってしまったことで、亡くなってしまいました。この地震から半年経った現在、地震による被害は落ち着いているものの、女性の中等教育



の禁止や、就業の制限などと、女性に関する課題がまだ残っています。



私達は、この事を知り、アフガニスタンの住民がどうしたら自由に安全に暮らすことができるかを考えることが大切だと思いました。

〈 韓国研修 〉

まず初めに、韓国研修のご支援をいただき誠にありがとうございました。たくさんの楽しい思い出を作ることができたので、韓国で体験したこと、学んだことを皆さんにお伝えしていきたいと思います。

今回私は、3月23日から28日の6日間、韓国に行かせていただきました。1日目は、14時の飛行機に乗り、韓国に行きました。

韓国に着いたらすぐにバスに乗って水原市に向かい、開会式に出席しました。この式の最後に初めてホストファミリーの皆さんと顔合わせをしました。



私が泊まらせていただいたホストファミリーは、おばあちゃん、おじいちゃん、お母さん、お父さん、9歳と7歳の女の子と一緒に暮らしている三世帯家族でした。2日目は、おばあちゃんが朝ご飯を作ってくれました。豆ご

飯、キムチ、薺が入った味噌スープなどがありました。韓国の味噌スープは日本の味噌汁と味が全然違って、今までに食べたことのない不思議な味がしました。



朝食後は、お父さんや子どもたちと近所を散歩したり、市場に行ったり、プリクラを撮ったりしました。



午後は、交流会に参加し、現地の高校生と沢山交流をしました。



その中で、特に仲良くなった高校生3人と夜ご飯のサムギョプアルと一緒に食べました。夕食と会話を楽しみ、お腹が膨れてきた頃、皆一斉にシメの冷麺を頼んでいま



ました。私は、お腹いっぱいなのにシメに1食分ほどの量がある冷麺を頼む事が理解できませんでした。また、冷麺を食べやすくするためにハサミで冷麺を真っ二つに切っていて、日本では見ない光景でとても驚きました。



3日目は、韓国の遊園地、エバーランドに行き、丸一日楽しみました。

4日目は、水原市内を観光しました。まず初めに水原の市役所に行きました。水原市の市役所には植物園やカフェがありました。その後は、アジュ大学を見学し、弓体験やヘウォン宮殿を観光しました。

5日目は、水原市から少し離れた丹陽という場所に、お

父さんに連れて行ってもらいました。



丹陽では、洞窟に入ったり、展望台に登ったりと、普段旅行ではなかなか行くことや見ることができない韓国の自然を堪能しました。

最終日は、朝5時に家を出てそのまま空港に行き、日本に帰ってきました。

最後に、今回私は人生で初めてのホームステイだったので、最初はとても楽しい気持ちと共に、不安な気持ちもありました。しかし、ホストファミリーが韓国語を喋ることができない私達に、翻訳アプリを使って積極的に話しかけてくれたり、子供たちがカードゲームに誘ってくれたりするなど、暖かく迎え入れてくれ不安な気持ちがすぐに消えました。みんなでアイスを食べたりなどと、些細なことも幸せに感じ、この6日間が一瞬で過ぎていきました。

このような幸せな経験をさせて頂いた、ロータリークラブの皆さん、ホストファミリーの皆さんに感謝しかありません。韓国で築いた絆を大切に、韓国で経験、体験したこと、沢山の人と話し広がった視野を活かし、今度海外の人と交流する際や、外国の問題について考えるときに、役立てていきたいと思っています。この度は本当にありがとうございました。





2年生 西岸 明日奈 さん

インターアクトに入って間もないのですが、点字ブロックの上に物を置いて道をふさがらないでほしいという訴えのポスターを作り、あしなが学生募金を行うなどの活動をしてきました。この活動から誰かの役に立てることに喜びを感じ、積極的にボランティアに参加していきたいという意欲が湧きました。

最近では、あしなが学生募金を通して、子供の貧困問題を知り、親を亡くした子供たちや親が障がい等で働けない家庭の子供たちに支援をし、寄付をしていきたいと思いました。



2年生 野口 紗英 さん

募金活動などを通じて、今この世の中で起きている社会問題に関心を持つようになりました。例えば、今なお社会に出ると女性と男性は平等に扱われていないことがあります。そのため、これからの社会で、女性が男性と同じようにリーダーになったりするなど、より女性が生活しやすい社会になってほしいと思います。そのためには、皆さんの女性に対する理解がより必要となります。

また、私は点字ブロックについてのポスターを作り、点

字ブロックの重要性に改めて気づくことができました。私たちは普段学校へ行くとき、バスや電車を利用していますが、そのとき何気なく道にある点字ブロックは目の不自由な方たちにとっては生活するうえで一番必要な存在です。点字ブロックの上で立ち止まったり、荷物を置いたりしないように、私たちの少しの気遣いが必要だと思いました。



2年生 渡辺 莉々花 さん

私は今までインターアクト同好会で行うような活動と関わりを持つことがなかったのですが、インターアクトに入って実際に点字ブロックのポスター作りや募金活動を行い様々なことを学びました。そこから興味が少しずつ湧き、例えば、今までは普通に見ていたテレビの大食い番組なども、フードロスなど環境問題の観点からみて、少し疑問を感じたりと、そのような時間が増えました。

これからの活動を通して、その疑問を言葉にする表現力や解決への糸口などを見つけていけたらと思っています。よろしくお願いします。



獨協埼玉高等学校インターアクト同好会の皆様の素晴らしい活動報告でした。ありがとうございました。



スマイル報告

・誕生日お祝いありがとうございます。

深野 秀和

・瀬戸先生、インターアクトの皆様ようこそ。本日の活動報告、楽しみにしています。

大濱 裕広

出席報告

・本日も宜しくお願いします。

会員数 43名

大濱 裕広

出席者 39名

・結婚祝いありがとうございます。結婚 27 年です。山あり谷あります。

出席率 95.1 %

大濱 裕広

・瀬戸先生、獨協埼玉高校生徒の皆様ようこそ。本日より宜しくお願いします。

5月青少年奉仕月間に因み、獨協埼玉高等学校インターアクト同好会の瀬戸先生、生徒の皆様へ活動報告をしてもらいました。

市川 洋和

・獨協埼玉高等学校瀬戸先生、インターアクトの皆さんようこそ。



宮崎 敏博 太田 靖彦 大熊 正行

江口 公晴 小宮山 大介 深野 秀樹

・獨協埼玉高校の皆様ようこそ。本日より宜しくお願いします。

大塚 具視 渡辺 裕介 伊藤 純

・本日の卓話楽しみにしております。

加地 昭俊 佐藤 要

・本日より宜しくお願いします。

松井 昭夫

インターアクト生徒の皆様が例会場に訪問してくれました。お弁当を美味しそうに食べていました。

・世界平和の為に。

関森 初義

・結婚祝いありがとうございました。

関 雄二郎

・誕生日祝い、ありがとうございます。

長谷川 真也

・結婚・誕生ありがとうございます。

黒田 幸英

・ありがとうございます。

吉田 実

・誕生祝ありがとうございます。

堀野 眞孝

・堀野さん、80歳おめでとございます。

小林 光則



顧問の瀬戸先生が最近のインターアクト同好会の活動状況や生徒達の紹介を行ってくれました。

